

- 問1 近畿地方に位置する内陸の県で、法隆寺や東大寺などの古い寺社を数多く有し、フランスなどの欧州からの旅行者が日本の伝統的な文化を体験するために訪れる主要な観光地となっている県はどこですか。 (2016年 広島県公立入試 類似)
1. 奈良県 2. 京都府 3. 和歌山県 4. 滋賀県
- 
- 問2 神戸市の中心部における地形の特色と、そこから読み取れる都市の形成状況について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 愛知県公立入試 類似)
1. 大規模な扇状地の扇端部に位置しており、等高線の間隔が非常に広い平坦な土地を利用して官公庁が並んでいる。 2. 複雑に入り組んだリアス海岸の入り江ごとに、山を背にして独立した小規模な集落と駅が点在している。 3. 広大な平野の中央部に大規模な盆地が広がっており、その中心部に等高線に沿って公共施設が分散している。 4. 北側に六甲山系が迫り南側が海に面するという限られた平地に、主要な駅や官公庁が集中して配置されている。
- 
- 問3 日本の人口移動と地域課題について述べた会話文において、人口が集中している東京、大阪、名古屋などの都市部と、人口減少が著しい地方農村部の対比が議論されています。このように、特定の都市に人口や機能が過度に集中することで発生する課題として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
1. 都市部での地価が急激に下落し、広い住宅の確保が容易になる 2. 住宅不足や交通渋滞、ゴミ処理問題などの過密問題が発生する 3. 地方自治体の税収が増加し、公共交通機関の維持が容易になる 4. 農村部での耕作放棄地が減少し、食料自給率が向上する
- 
- 問4 京都市では、歴史的な町並みや文化財を守るために、建物の高さや意匠（デザイン）を制限する独自の取り組みが行われています。このような都市計画上の規制を設ける最大の目的として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 福岡県公立入試 類似)
1. 工業地帯を拡大し、近代的な工場を市街地の中心部に誘致するため 2. 建物の建設コストを削減し、新しい住宅を短期間で大量に供給するため 3. 伝統的な建築物と周囲の環境を調和させ、景観の保存を図るため 4. 再開発を促進し、容積率を緩和することで高層ビルの建設を増やすため
- 
- 問5 滋賀県にある主要な城郭の変遷をたどると、戦国時代初期の小谷城などは険しい山の上に築かれていましたが、その後の長浜城、彦根城、安土城、大溝城、坂本城はいずれも琵琶湖の湖岸近くに位置しています。このように、有力な武将たちが拠点を湖岸へと移していった歴史的背景に関連する記述として、誤っているものはどれですか。 (2024年 滋賀県公立入試 類似)
1. 城の周囲に水を引き込んだり湖に面したりすることで、敵による包囲や攻城を困難にする防御上の利点があった。 2. 湖上の交通の要所を支配することで、年貢や特産物の流通を管理し、経済的な利益を得る目的があった。 3. 当時は鉄砲が伝来する前であったため、矢の届かない広い水面を確保して安全に生活することが唯一の目的であった。 4. 船を活用することで、陸路よりも大量の兵員や重い軍需物資を迅速に輸送することが可能であった。
- 
- 問6 近畿地方において、特定の期間に外国人宿泊者数の増加率が著しく高くなった背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 岡山県公立入試 類似)
1. 農村部で大規模な機械化農業が普及し、農産物の輸出作業に従事する外国人の宿泊が義務付けられたため。 2. 臨海部に新たな石油化学コンビナートが次々と建設され、海外からの技術者の長期宿泊が急増したため。 3. 歴史的な社寺や街並みなどの世界文化遺産が豊富に存在し、日本独自の文化を求めるインバウンド需要が高まったため。 4. 内陸部の工業団地において、スマートフォンの部品を製造する外資系企業の工場がすべて撤退したため。
- 
- 問7 近畿地方の各府県を比較した統計において、面積が約5,777平方キロメートル、人口が約184万人であり、製造業出荷額等が約9兆4,500億円と極めて高く、かつ海面漁業生産額が約489億円に達するなど、工業と水産業の両方が盛んな特徴を持つ県はどこですか。 (2015年 長野県公立入試 類似)
1. 奈良県 2. 滋賀県 3. 和歌山県 4. 三重県
- 
- 問8 三重県の志摩半島周辺に見られる、岬と湾が複雑に入り組んだ海岸地形を何と呼びますか。その名称として正しいものを選びなさい。 (2026年 愛媛県公立入試 類似)
1. 干拓地 2. 砂浜海岸 3. 三角州 4. リアス海岸
- 
- 問9 滋賀県の農業産出額において、米が占める割合は50%を超えており、全国平均の約2割強と比較しても極めて高い水準にあります。滋賀県でこのように米作りが盛んに行われている地理的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2015年 長野県公立入試 類似)
1. 土地の大部分が火山灰に覆われており、水はけが良すぎて他の作物の栽培が難しいため 2. 琵琶湖周辺に平野が広がり、稲作に必要な豊かな水資源を確保しやすいため 3. 県全体が標高の高い冷涼な気候であり、害虫の被害を受けにくい環境であるため 4. 京阪神などの大消費地に隣接しているため、鮮度が重視される米の近郊農業が発展したため
- 
- 問10 近畿・中部地方の各県を比較した農林水産統計において、ある県は「海面漁業」の生産量が0である一方、「漁業生産量の総数」と「内水面漁業」の数値が完全に一致しています。日本最大の湖である琵琶湖を擁する滋賀県の産業の特色として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 岡山県公立入試 類似)
1. 日本海に面した若狭湾を利用して海面漁業が行われているが、統計上は琵琶湖の淡水魚と合算して表記されている。 2. 海に面していない内陸県であるため、海面漁業は行われず、漁業生産のすべてが琵琶湖や河川などの内水面で行われている。 3. 大規模な干拓事業によって琵琶湖の面積が縮小したため、現在は漁業よりも稲作を中心とした農業が産業の主体となっている。 4. 森林面積が県域の多くを占めているため、漁業や農業の生産額よりも林業産出額が統計上で最も大きな割合を占めている。
- 
- 問11 阪神工業地帯が位置する大阪平野の地理的条件と、そこでの工業の発展について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 岐阜県公立入試 類似)
1. 周辺を険しい山々に囲まれた盆地であり、周囲との交流が遮断されていたため、伝統的な工芸品や繊維工業が中心となった。 2. 大規模な河川の河口部に位置し、その豊富な水量を利用した水力発電によって、明治初期からアルミニウム工業が盛んになった。 3. 広大な関東ローム層の台地が広がっており、地盤が強固であったため、精密機械工業や電子部品工業が内陸部で独自に発達した。 4. 六甲山地などの山々と海に挟まれた平野部に位置し、古くから港湾が整備されたことで原材料の輸入や製品の輸送に有利であった。